

兵庫県立福崎／播磨福崎高等学校
図書だより



2025年 6月号

【新着図書の紹介】 第71回青少年読書感想文コンクール・課題図書



『銀河の図書室』 名取 佐和子

宮沢賢治の言葉を残して、突然学校から消えてしまった先輩。その謎を追う高校生たちの今を瑞々しく描く、傑作青春小説。

『金原瑞人選モダン・クラシックYA
夜の日記』

ヴィーダ・ヒランダンニ著
山田文訳



イギリスからの独立とともに、分かれてしまった祖国。少女と家族は安全を求めて、長い旅に出た。ニューベリー賞オナー賞受賞作！

『「コード」のぼくが見る世界

聴こえない親のもとに生まれて』 五十嵐 大

もし、親の耳が聴こえたら——なんて、想像もつかなかった。言葉やコミュニケーションの本質、「善意による差別」って何だろう？



＊読書感想文については、来月詳しくお知らせします＊
以下のリクエスト本も注文中です！

『八咫鳥シリーズ 3 黄金の鳥』・『4 空棺の鳥』・『5 玉依姫』・『6 弥栄の鳥』

【図書委員オススメの本】 今月は1年生からのオススメ！

～書名の前に○がついているものは図書室にもあります～

○『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』 汐見夏衛

親や学校、すべてにイライラした毎日を送る中2の百合。母親とケンカして家を飛び出し、目を覚ますとそこは70年前、戦時中の日本だった。そこで特攻隊員の彰に助けられ、百合は彰の誠実さと優しさに惹かれていく。だが、特攻隊員の彼は、ほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった。

[1組図書委員がオススメ!] この本は、タイムスリップを題材にした青春ラブストーリーでありながら、戦争という重いテーマを扱っている感動作です。この作品は「もしも自分が戦時中に生きていたら」という視点を自然に想像させてくれます。

・『リアル鬼ごっこ』 山田悠介 (同じ作者の作品はあります)

全国にいる500万人の佐藤さんが、鬼に追いかけられ捕まると殺されますが、一週間生き延びると何でも願いが叶えられるという話です。

[1組図書委員がオススメ!] 読んでいてとてもワクワク、ハラハラして次の展開が予測できないところが、この本の良さです。この一週間で家族の愛や友情などが見られます。そして最後はとても衝撃的でびっくりするのでぜひ読んでほしいです。

○『夜のピクニック』 恩田陸

主人公の貴子は高校最後のイベントの歩行祭で、小さな賭けを胸に、夜通し80km歩く。このイベントを機に話したことのない人々と、新たな出会いが生まれる、高校生の青春物語。

[2組図書委員オススメ!] 私たちと年齢が近いので、親近感を覚えながら読めるし、違うところがあってもそれはそれで新鮮な気持ちになって物語を楽しむこともできるから。

・『鏡地獄』 江戸川乱歩 (同じ作者の作品はあります)

『鏡地獄』の他、乱歩の怪奇・幻想小説の傑作を選びすぐって収録した短編集。

[3組図書委員がオススメ!] 私はこの本に収録されている『人間椅子』にとっても関心がありました。題名からは想像できない生々しい表現があり、最後にどんでん返しがあり、とても面白かったです。

○『そして、バトンは渡された』 瀬尾まいこ

主人公の森宮優子は、実の母を幼い頃に亡くし、その後も何度か名字が変わるほど家庭環境が変化してきました。血のつながりはなくても、さまざまな大人に愛情を注がれながら成長していきます。物語は彼女の「家族」がリレーのようにバトンを渡しながらかつながらっていく様子が描かれた、優しく力強いストーリーです。

[2組図書委員オススメ!] 血のつながりを超えて優子に深い愛情を注ぐ大人たちの姿が印象的。様々な家族のかたちがある今ですが、それらが前向きに描かれ、読む人の心を明るくしてくれます。

○『はたらく細胞』 清水茜（各クラスの学級文庫に多数貸し出し中!）

人間の体内にある細胞を擬人化した物語で、病気やケガをした時などに、体内で細胞たちが細菌と戦う様子など、体内での活動が描かれています。

[3組図書委員がオススメ!] いろいろな細胞が個性豊かなキャラクターとして登場し、細胞の働きを滑稽みのある表現で描かれています。体内の仕組みやいろいろな細胞の働きを楽しく学ぶことができます。健康の大切さを知ることができ、健康への意識を高めることができると思います。生物が苦手な人や、好きな人でも楽しく読めますが、グロテスクな描写が多いため、無理な人にはオススメできません。

・『とある魔術の禁書目録』 鎌池和馬

超能力が科学によって解明された世界。能力開発を時間割(カリキュラム)に組み込む学園都市。その町に住む高校生・上条当麻のもとに、純白のシスターが現れた。彼女は禁書目録と名乗り、魔術師に追われていると語る。こうして当麻は科学と魔術の交差する世界へと足を踏み入れていく。

[4組図書委員オススメ!] 主人公がバトルで困難を開く展開がメインで、「少年漫画的な作品」だと表されることも多い。作者曰く「複雑な問題を抱えた魔術師やら能力者なりを主人公が真正面からたたいていく話で、その不屈の姿勢で困難を切り開いていく上条の戦いが作品の柱である(以下略)」そうです。

・『くちぶえ番長』 重松清（同じ作者の作品はあります）

風変わりな転校生・川村真琴との1年間の物語。

[5組図書委員オススメ!] 読み進めるうちに、どんどん作品の世界観に入り込むことができるから。共感できるところがたくさんあり、面白いから。

○『噂』 荻原浩

「レインマンが出没して、女のコの足首を切っちゃうんだ。でもね、ミリエルをつけてると狙われないんだって。」香水の新ブランドを売り出すため、渋谷でモニターの子高生がスカウトされた。ロコミを利用し噂を広めるのが狙いだった。販売戦略どおり、噂は都市伝説化し、香水は大ヒットするがやがて噂は現実となり…

[4組図書委員オススメ!] 最後の1行で物語の見え方が一変してしまう驚愕ミステリー。(略) 読んでいる時はかなり注意深く犯人を探していたのですが、この作品は誰でも「最後の1行」にやられてしまいます。

○『変な絵』 雨穴

オカルトサークルに所属する佐々木は、後輩の栗原からとあるブログの存在を教えられる。そこには「あなたが犯した罪」という不穏なメッセージとともに妻が描いた絵が載っていた。9枚の絵に秘められた衝撃の真実とは？

[6組図書委員オススメ!] 絵に隠された真実がわかったとき、絵がガラッと変貌し、見え方が変わるところがおもしろい。伏線がどんどんつながっていくので、最初から最後まで楽しく読める。謎解きホラー要素が融合している。

・『夜廻 三』 黒史郎

ある日、小学生のユズは不思議な森の中に迷い込んでしまう。森の中で出会った少女から自身にのろいがかけられていると知らされ、それを解くには化け物がいる待ちを歩き、失った記憶を取り戻さないといけないと教えられる。ユズは自身にかけられた呪いを解くため夜の町を探索する…。

[6組図書委員オススメ!] 前作を読んでいなくても楽しめます。成長するにつれ忘れていく夜の道やお化けの怖さを思い出して、ハラハラしながら読むことができます。主人公と一緒に謎を解いたり、伏線回収ができたりします。

○『ハリー・ポッターと賢者の石』 J・K・ローリング

親戚の家でいじめられながら暮らしていた主人公ハリーのもとに、11歳の誕生日を迎えようとしていたある日、ホグワーツ魔法魔術学校から入学許可証が届く。

[5組図書委員オススメ!] ハリー・ポッターはここから始まり、どんどん引き込まれていきます。友情や恋愛、バトルと様々なシーンがあり、本当に誰でも読みやすい作品になっています。まだ読んでいない人はぜひ。

お知らせ:6月24日(火)~30日(月)の期間は、工事のため図書室を閉室にします。貸出・返却は23日(月)までに行ってください。